

平成27年度
青少年の体験活動
推進企業表彰
**審査委員会
奨励賞**
【大企業部門】
(五十音順)

アデコ(株)

職業・仕事

「キャリア教育プロジェクト」
～“はたらく”マインドを伝えていく
参加型授業の取り組み～

小学6年生をメインターゲットに「出前授業」を行い、子供たち自身で“はたらく”マインドと“職業”に興味を持ち、自分の強みや適性に気付くきっかけにつながるよう、キャリア形成の支援に取り組んでいる。



Adecco

<http://www.adecco.co.jp/>

(株)NTTデータ

科学・技術

～使う人から創る人へ～
NTTデータ 子どもIT体験教室 プログラミング入門

小学生の全学年を対象に、初めて挑戦する子供でも楽しめるプログラミング教室を春と夏の年2回開催している。「やったら面白かった。もっとやりたい!」という心の種をまき、未来への可能性を広げる活動。



NTT DATA

http://www.nttdata.com/jp/ja/corporate/csr/social_contribution/elementary_school/index.html

KDDI(株)

職業・仕事

～ITと通信で、距離と震災を乗り越える!～
「KDDI×Life is Tech! 東北イノベーターズ プログラム」

東北の未来を担う人材育成を目的とし、半年間のIT教育を実施。3日間のキャンプでWEB・アプリ制作の基礎を学んだ後、オンライン講座を通じて、地域の課題解決につながるWEBやアプリをチーム単位で企画。



Designing The Future あたらしい自由。

KDDI au

<http://news.kddi.com/kddi/corporate/csr-topic/2015/03/09/988.html>

佐川急便(株)

自然・環境

佐川急便『高尾100年の森』自然体験教室

佐川急便では、東京都八王子市にある社有林「高尾100年の森」において「里山とともにあった生活文化」、「里山の自然の恵み」など、里山を通じて「自然と人との繋がり」を学ぶ自然体験学習を、平成19年より継続的に開催している。



Sagawa TRANSPORT! COMMUNICATION SAGAWA

<http://www.sagawa-exp.co.jp/takao100pi/>

ALSOK(総合警備保障(株))

生活・文化

ALSOKあんしん教室

“守りのプロ”である社員を小学校に派遣し、「防犯」や「救急救命」の授業を行う。平成16年度より、のべ120万人以上が参加。活動活性化および品質向上のため、社内マイスター制度や研修制度を設けている。



ALSOK

<http://www.alsok.co.jp/company/society/ansin/>

損害保険ジャパン日本興亜(株)

自然・環境

みんなで守ろう!日本の希少生物種と自然環境
「SAVE JAPAN プロジェクト」

子供たちを含む地域の方が環境保全活動に参加するきっかけを提供することを目的に展開する本プロジェクトは、平成27年12月末までに全国で603回、30,182人の方々にご参加いただいている。



SOMPO ホールディングス
損害保険ジャパン日本興亜
<http://savejapan-pj.net/>

大和ハウス工業(株)

生活・文化

SAKURA PROJECT(桜プロジェクト)

日本全国の小学校・幼稚園・保育園を対象に「プロの和楽器奏者による生ライブおよび演奏体験」と「桜の植樹」を行い、子供たちに日本文化や“和の心”について触れてもらう体験型プログラム。



Daiwa House
大和ハウスグループ
<http://www.daiwahouse.com/sustainable/social/contribution/sakura/sakura-project/>

(株)タカラトミー

生活・文化

100ねんあそび。
～未来のために、わたしたちができること～

地球環境の悪化や資源の枯渇で「おもちゃが作れなくなる＝遊べなくなる」ことを、子供たちとタカラトミーの重要課題として共有し、鉄道玩具「プラレール」を題材に、環境配慮とものづくりを共に考える体験型出張授業を実施している。



TAKARA TOMY

<http://www.takaratomy.co.jp/company/sustainability/eco/communication.html>

(株)テレビ東京

職業・仕事

「テレビ東京の校外学習」
～テレビ局の仕事 本物を体験する!～

取材用のカメラを担いでみたり生放送直前のキャスター席で原稿を読んだり…。テレビ番組が放送されるまでの実際の流れを見学、体験してもらうプログラムを平成23年度から実施している。小学5年生から高校生が対象。



TV TOKYO | テレビ東京
www.tv-tokyo.co.jp

<http://www.tv-tokyo.co.jp/csr/learning/index.html>

東芝テックソリューションサービス(株)

職業・仕事

体験!レジ係

平成18年度よりレジ係・レジの分解ワークショップ・バーコードの研究等の体験学習を提供。現役エンジニア・OBとの協働により、活動の多様性推進と世代間交流を図っている。特別支援学校・フリースクールでも実施。



TOSHIBA
Leading Innovation >>>

<http://www.toshibatec-tss.co.jp/ttss/csr.html>

トヨタ自動車(株)

自然・環境

トヨタ白川郷自然学校
「未来につながる人づくり」

平成17年より延べ16万人が来校、自然体験プログラムを体験。エコや自然との共生を考えるきっかけ作りから、共に育ち、育て合う「共育」へ発展させ、「自ら考え、行動する」ことのできる人づくりに取り組んでいる。



TOYOTA Shirakawa-Go Eco-Institute
トヨタ白川郷自然学校
http://www.toyota.co.jp/jpn/sustainability/environment/blessings_of_nature/sirakawa-go/

(株)日本取引所グループ

職業・仕事

JPX起業体験プログラム

株式会社を擬似的に設立・経営する体験等を通じ、自ら学び・自ら考える力などの「生きる力」を育むことを目的とする起業教育活動。本物のお金を使い、現実世界に限りなく近い条件で体験できる。



JPX
JAPAN EXCHANGE GROUP

<http://www.jpjx.co.jp/learning/education/entrepreneur/program/>

三井化学(株)

科学・技術

化学実験教室「ふしぎ探検隊」

小中学生を対象に、化学技術に興味を持ってもらい、将来の化学技術を支える人材になってほしいという思いから、日常生活に身近な「化学のなぜ?」を実験テーマに選定した化学実験教室を平成18年から実施している。



三井化学

<http://jp.mitsuichem.com/csr/society/contribution/next-generation.htm>

森ビル(株)

生活・文化

ヒルズ街育プロジェクト

六本木ヒルズなどの実際の街を舞台にした親子向け体験学習プログラム。街づくりのノウハウや街の魅力を、未来を担う子供たちに伝えると共に、楽しく学びながら次世代の都市のあり方を考える。



MORI

<https://www.mori.co.jp/machiiku/>

日本郵便(株)

生活・文化

「手紙の書き方体験授業」支援

全国の希望する小学校、中学校及び高等学校に対し、手紙の書き方を学べるテキスト・郵便はがき等を無償で配布。学校授業を通して子供たちに、手紙のやり取り、手紙を送る楽しさ・もらう喜びを体験してもらう。



JP POST 日本郵便

<http://www.post.japanpost.jp/>

平成27年度
青少年の体験活動
推進企業表彰
審査委員会
奨励賞
[中小企業部門]
(五十音順)

(株)阿部長商店 南三陸ホテル観洋

職業・仕事

中・高・大学生ホテル就業体験実習

中・高・大学生を対象に、ホテル内にて1週間～1ヶ月の就業体験を実施。実際の勤務時間に則り、清掃・給仕・接客業務を行う。震災語り部バスに乗車しての防災学習や、仮設住宅での地域住民との交流の場も提供する。



南三陸ホテル観洋
http://www.mkanyo.jp/

(有)アルファグリーン

自然・環境

戸塚まつり2014 MG牧場/
大学生有志による0限活動「ヤギプロジェクト」

「日常に生き物がいる」意義について、除草ヤギとの触れ合いを通して理解してもらう機会を提供し、畜産についても考えてもらう。また、有志大学生らが部活動として期間中除草ヤギの飼育を行っている。



アルファグリーン
αGREEN
www.a-green.org

(株)伊徳

生活・文化

5・A・DAY
親子で楽しく学ぼう体験学習/食育体験活動

平成20年度より小学生対象に食育プログラムを実施。小学校7校対象に買物ゲーム、栄養バランス、サラダ作りを体験してもらい野菜摂取と食事バランスの大切さを学ぶ。26年度参加数454名となった。



ITOKU 株式会社 伊徳
http://www.itoku.co.jp

(有)井上商店

職業・仕事

出前!うどん講習会

平成20年から、兵庫県の小・中学校を対象に、生きる上で必ず必要な「衣食住」のうちの「食」を、「うどんが小麦粉から麺帯へ、そして麺へ」となっていく過程を、五感を通して体験する機会を提供。



淡路島 長
井上商店 http://www.wakameya.jp/

(株)玄米酵素

生活・文化

食育に関する講演・家庭科の授業・料理教室

墨田区学校支援ネットワークからの依頼により、学校に出前授業(料理教室や家庭科の授業など)を行う。また、墨田区以外の学校からの依頼で食育講演を行う。



株式会社 玄米酵素
https://www.genmaikoso.co.jp/

高知ファイティングドッグス球団(株)

自然・環境

高知ファイティングドッグスサマーキャンプ

野球の独立リーグ、四国アイランドリーグplusに所属する高知ファイティングドッグスのホームタウンである越知町の豊かな自然を体験し、ドッグスの選手とミニゲームやバーベキューなどで触れあう1泊2日の活動。



FIGHTING DOGS KOCHI
http://www.fighting-dogs.jp/volunteer.htm#012

(株)デルタスタジオ

生活・文化

世界中にともだちをつくらう!
いろいろな国の小学生と楽しくあそべるパーティだよ!

中高生より、日本人と外国人の子供が交流して互いに理解ができる機会をつくりたい、という提案があったため事務局として運営の支援をし、子供たちが中心となり、互いの文化に触れるゲームやビンゴ大会を行った。



DELTA STUDIO
http://www.delta-studio.jp

(株)東京ソワール

生活・文化

フォーマルファッション&マナー講座と
端切れを利用したものづくり体験

小学生から中学生までを対象に、「冠婚葬祭」をキーワードとした「フォーマル」の意味を理解してもらう講座と、端切れを利用した「コサージュ」を作り、ものづくり体験をするプログラムを平成22年から実施。



TOKYO SOIR
株式会社 東京ソワール http://www.soir.co.jp/

ネットヨタ群馬(株)

自然・環境

ネットヨタ群馬
グリーンツーリズムキャンペーン

子育てファミリー世代を中心に参加者を募り、約5年間で5000本を植樹した赤城山「ネットヨタ群馬金丸の森」で野外料理や観察会を体験したほか、県内の自然公園でアサギマダラの生体調査なども行った。



NetZ ネットヨタ群馬
http://www.netzgunma.co.jp/

(株)やすむら

自然・環境

木育推進活動

森林の役割を学び、伐採し上手に使い植えて育てる「木育講座」と、端材で、小箱ベン立てマイ箸を作る「木工教室」をセットで、幼稚園小学校中学校への出前授業を行い、国産木材の利用と物づくり文化の伝承につなげている。



株式会社 やすむら
http://www.kk-yasumura.com

リヴァックスホールディングス(株)

自然・環境

こども農業塾

兵庫県西宮市内の小学4年生から6年生を対象に、半年にわたって米づくりや土づくりなど、自然や食べ物に関わるさまざまな体験をすることにより、農業の楽しさや作物を育てることの難しさ、自然循環の大切さを学ぶ。



REVACS GROUP
http://www.revacs.com/csr/new_activity/

青少年の体験活動の充実に向けて

子供たちが家庭や学校の枠を越え、地域で様々な形で体験を通じて学習する「体験活動」に期待が高まっている。活動の機会を提供するのは、地元の企業や団体である。それぞれが持つ人材、資産、そして本業におけるスキル等を活かして、青少年が「社会を生き抜く力」を身につけるために、多様な体験活動を創出している。

ではなぜ今、青少年の体験活動が必要なのか。

少子・高齢化やグローバル化、情報通信技術の進展、経済活動や雇用活動の急激な変容など、青少年をとりまく社会はめまぐるしく変化している。このような時代を生き抜くために求められるのはコミュニケーション能力や自立心、主体性、協調性、チャレンジ精神、責任感、創造力、変化に対応する力、異なる他者と協働する力である。

中央教育審議会の答申『新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について』(H27.1)では、「これからの子供たちには、厳しい挑戦の時代を乗り越え、高い志や意欲を持つ自立した人間として、他者と協働しながら未来を創り出し、課題を解決する力が求められている。子供たちの生きる力は、学校だけで育まれるものではなく、家庭における教育はもちろんのこと、多様な人々と関わり、多様な経験を重ねていく中で育まれるものであり、地域社会とのつながりや信頼できる大人との関わりを通して、子供たちは心豊かにたくましく成長していく。」としている。また、平成27年6月に閣議決定された「まち・ひと・しごと創生基本方針2015」では、地方創生の実現に向けて、これからの子供たちには、地域への愛着や誇り、地域課題を解決していく力が求められるとしている。

このように、これからの子供たちの学びや育ちを支援するに当たってのキーワードが見えてくるのではないだろうか。ひとつは「多様な経験」であり、ひとつは「地域とのつながり」である。

ところが現状は、「多様な体験」一つとってみても、子供たちの多くは心や体を鍛える機会や遊びの場も少ない。保護者の経済力や地域情報により、体験する機会に格差が生まれている。もはや、家庭だけ、学校だけにこれらの問題の対応を望むことは難しく、家庭、学校、そして地域が手を携えて、教育的な見地に立って子供たちに体験活動の場を提供することが必要とされているのである。

「青少年の体験活動推進企業表彰」は中央教育審議会の答申『今後の青少年の体験活動の推進について』(H25.1.21)を受けて始まった。3年目を数える今回は従来の大企業のみならず、全国の中小企業からも多くの応募があった。応募の内容も、多様であり、継続して体験活動

を行っている企業は、対象者を広げながら改善を行っており、体験活動への理解の深まりが認められた。

多くの人と関わりながら体験を積み重ねることは、コミュニケーション能力や自ら考え動く力を身につけ、人間性豊かな、たくましい青少年を育成する。今後、さらに推進していくためには、体験活動を提供した側だけでなく、これらの活動に積極的に参加した青少年をしっかりと評価することも忘れてはならない。

また企業側にとっても体験活動を推進することが社会的な信頼を増し、地域課題の解決に貢献し、また地方創生といわれる中で「ひとづくり」にも関わっていくということにもつながる。活動を通して企業が地域を育み、地域が企業を育てていく。今後、国や地方公共団体等と企業・団体との連携を強め、積極的に働きかけることにより、青少年の体験活動の充実につなげたい。

広がる企業の体験活動

【大企業部門】

(五十音順)

職業・仕事

(株)西日本新聞社
http://kodomo.nishinippon.co.jp/

西日本新聞こども記者

九州在住の小学4年～中学3年生を対象に、平成22年から開始。今年度は70人が1年間の活動期間中に新聞記者体験をして、西日本新聞朝刊に毎日掲載する紙面「もの知りタイムズ」へ記事を掲載した。

日本テレビ放送網(株)
http://www.ntv.co.jp/taiken/

日テレ体験教室

技術制作チームが中継車とともに学校などを訪問する「日テレ体験教室」を平成19年から実施。放送の仕組みの解説やテレビ制作の実演を通してメディアリテラシーを学び、さらに実際の放送機材の操作体験も行う。

(株)ハチバン
http://www.hachiban.co.jp

ハチバン親子料理教室&工場見学

食品工場(生麺・ギョーザ製造)を見学した後、親子で野菜を切るところからラーメンを作り、家庭用フライパンで餃子を焼く。カラダに良い食材を使って「自分で作る」ことを、親子で体験する。

東愛知日産自動車(株)
http://www.tanpopo-village.jp/

東愛知日産 豊橋柱店「子ども整備士体験講座」

店舗を構える近隣地区の生活者に対し、「親子でNISSANに遊びに行き、お子様がプロの整備士と一緒に車の点検を体験していただく」という子供向けの職業体験プログラムを実施。

(株)フジテレビジョン
http://www.fujitv.co.jp/csr/anasen/index.html

あなせんプロジェクト

主に小学生を対象に、コミュニケーション能力の向上をめざし「伝えるプロ」である現役アナウンサーが発声・滑舌を教える出前授業。キャリア教育の一環としてテレビ番組制作の裏側なども紹介している。

ホテル日航熊本
http://www.nikko-kumamoto.co.jp/

ホテル日航熊本

寿司職人やパティシエ、ベルマン等、ホテルの仕事を体験してもらい、働くことの大変さや喜びを知ってもらう。また、社内の人材を活用し交流することにより、ホテルやホテリエという職業に対する親和性を醸成する。

科学・技術

アイエックス・ナレッジ(株)
http://www.ikic.co.jp/

ロボット&プログラム体験教室

都内で小学4～6年生を対象に実施。教育用ロボットキットとソフトウェアでプログラミングの楽しさを体験する。自分たちが作ったプログラムでロボットは動くのか?2人1組のチームで挑む3時間の教室。

京セラドキュメントソリューションズ(株)
http://www.kyoceradocumentsolutions.co.jp/

小学校での理科特別授業の実施

平成20年度より大阪市・枚方市の教育委員会に協力し、小学6年生を対象に理科特別授業として、社員が講師となり、電気が身の回りの物にいかに関与しているかを、複写機の原理を利用し実験をまじえて講義している。

(株)東芝 東芝未来科学館
http://toshiba-mirai-kagakukan.jp/index_j.htm

川崎さいわい少年少女発明クラブ

小学4～6年生を対象に1年間の継続した活動を通して、東芝の技術や製品の基盤となる「科学の原理や仕組み」を体験・体感的に理解し、生活に役立つ発明の芽を育てる活動を行っている。

(株)ニッピ
http://www.nippi-inc.co.jp/

体の中でも外でも大活躍。

カラーゲンがつくる不思議な世界。

カラーゲンやゼラチンを題材に消化の実験を行いながら、ウシを食べてもなぜウシにならないのか、食べ物を分解・消化し、栄養として吸収する体の仕組みを学ぶ。講師や実験アシスタントはすべて社員が行う。

三菱重工業(株)
http://www.mhi.co.jp/csr/index.html

夏休み特別理科授業

風見鶏をつくろう&傘袋ロケットをつくって飛ばそうin福島

福島県の仮設住宅に暮らす子供たちを対象に、風見鶏と傘袋ロケットの工作を行う出前理科授業を福島県内の体育館で実施。工作を通じて宇宙やロケットに関する原理や仕組みを学習する。中日新聞社と共同で実施。

三菱電機(株)
http://www.mitsubishielectric.co.jp/corporate/philanthropy/case/field/science/education/

「三菱電機サイエンスフェスタ」～科学の面白さを発見～

次代を担う子供たちの理科への関心を高め、将来に向けたエンジニアの育成を目的として、尼崎市教育委員会と連携、同市内の小学生を対象に年3回(土曜日)、同市内の会社施設利用にて、実験を中心に理科教育を実施。

自然・環境

朝日ガスエナジー(株)
http://www.asahigas.co.jp/

熱気球体験搭乗

小学4年生を対象に、熱気球体験搭乗を実施。理科の授業における「空気の温まり方」を教科書で学ぶだけでなく、熱気球体験搭乗を通じて、楽しみながら学んでもらう機会を提供。今後も学習への興味、意欲向上に貢献していきたい。

NECネットエスアイ(株)
http://www.nesic.co.jp/csr/contribute-education.html#01

南極くらぶ

日本南極地域観測隊越冬隊に参加した社員が、南極の気候・天候・生存する動物などについて、何万年も前にできた氷などの実物に触れさせながら授業を行う。また、中高生にはキャリア教育の一環として実施している。

大塚製薬(株) 徳島支店
http://daizu1605.blogspot.jp/

親子で大豆を育てよう!体験ツアー

徳島県内在住の親子に大豆の種植えから収穫までを一貫して行っていただく体験プログラム企画。親子のコミュニケーションと地元への貢献を大切にしながら食育を行っていく。

(株)山陰中央新報社
http://www.sanin-chuo.co.jp/

さんいん環境スクール

山陰中央新報社が事務局を務め、森林保全活動などを行う「環境キャンペーン」の一環。小学生を対象に、地元の太陽光パネル販売会社や建築・土建会社、水族館と連携した各種工作、実験を通じて環境保護の大切さを学ぶ。

サントリーホールディングス(株)
http://suntory.jp/MIZU-IKU/

サントリー水育(みずいく)「出張授業」

小学4・5年生を対象に、小学校の教室で行うプログラム。映像や実験を通して、自然のしくみや大切さを学び、地球上の水の循環の中にいる自分たちが、未来に水を引き継ぐために何ができるのかを考える。

宝酒造(株)
http://www.takarashuzo.co.jp/environment/ecoschool/index.htm

宝酒造エコの学校

自分たちが住む地域のごみ問題の現状やごみを減らす方法について、環境学習施設の展示見学やアルミ付紙パックから絵葉書を作るリサイクル体験等交換しながら、親子で楽しく学べるプログラム。

(株)千葉薬品
http://www.yacs.jp

ヤックス自然学校 四季折々の自然体験活動

～ Learning by doing ～

昭和51年より地域社会貢献事業の一環として、自然体験活動を通じて、「人と人」「人と自然」「人と文化」の3つのふれあいをテーマに、幼児～高校生、親子を対象とした四季折々のプログラムを継続的に実施。

(株)中日新聞社
http://chunichi-kodomojuku.com/

中日新聞のESD 地球未来こども塾

ESDとは、身近な問題を自分で解決する力を養い、世界が抱える問題の解決に導く人材を育てること。中部地方の小学6年生150人を愛知県三河地方にある東栄町に連れて行き、「子供たちが自ら考え行動する」ようなプログラムを用意した。

(株)ドミー
domy.co.jp

親子で豆腐作り体験

毎年、小中学生の親子を対象に、種まき・枝豆収穫・大豆収穫・豆腐作りと4つの体験型イベントを同じ親子に参加していただき、定点での観察をしながら食の大切さを理解してもらう取組を行っている。

(株)西日本新聞社
http://www.nishinippon.co.jp/wordbox/article/7592

西日本新聞ハチドリ隊

九州在住の中高生を対象に、平成20年度から海外ボランティア体験を通じて、地球環境について考えてもらおうと実施。黄砂の原因となる中国・クブチ砂漠やベトナム・ホーチミン市のマングローブに植林を行った。

(株)日本テレビアート
http://www.ntvart.co.jp

「アート de GENKI!」 サンドで元気!プロジェクト

「サンドアート」を通して親子の貴重な夏の一時を思い出深いものにし、一緒に造形物を作る楽しさを通して豊かな心を育てるお手伝いをできれば、と考えた。又、海の環境保全の意識向上への内容を盛り込んだ。

ネットトヨタ岡山(株)
www.netzokayama.com

山陽新聞エコプログラム「地球環境と私たち」

「エコキャンプ」は環境学習や森づくり体験、自然観察教室等のプログラムを親子で体験してもらうプログラムで16回実施。「トヨタ自動車工場見学会」はエコカーの製造工程や企業の環境への取組を親子で見学してもらうプログラムで5回実施。

北陸コカ・コーラボトリング(株)
http://www.hokuriku.ccbc.co.jp/

北陸コカ・コーラグループ

「うるおいの森づくり」植林活動

飲料製品に欠かせない森からの良質な地下水を守り、企業CSR、環境保全の取組として、平成17年より保水力に富んだ広葉樹を富山県南砺市の山々に継続的に植林している。富山県内の行政と企業との森林保全協定は初である。

(株)北海道新聞社
http://adv.hokkaido-np.co.jp/eeco/special/greenschool15_report.htm

北海道エコアクション「グリーンスクール2014」

真夏の北海道の自然環境の中で、実際に「見て・触れて・体感する」体験型のイベントとして開催。同世代の仲間とともに、環境の大切さを等身大で理解させるとともに、自ら考えて行動する意識を育む。

http://adv.hokkaido-np.co.jp/iku-mirai/whiteschool/index.html

育企画「ホワイトスクール2015」

世界で活躍しているアスリートを雪山せんせいとして招へい。冬の北海道の自然に触れながら環境の大切さを等身大で理解してもらう体験学習を実施した。

SMBCコンシューマーファイナンス(株)
http://www.promise-plaza.com/about/educate

お金に関する体験プログラム

全国18箇所にあるお客様サービスプラザが主体となり、小学生にはお金の役割や大切さを学ぶ“お金の流れ体験ゲーム”の開催や、高校生には家計管理やローンクレジットなどに関する出前講座を平成23年度から実施。

大阪ガス(株)
http://www.osakagas.co.jp/shokuiku/news150912r.html

その時、あなたを守れる、あなたになろう。

「親子で学ぼう!防災クッキング」体験セミナー

災害に見舞われた時、生き抜く知恵と力の一つとして、栄養バランスがありカセットコンロとフライパン1つでできる、スナック菓子を使ったメニューなど、ご家庭内にある身近な食料やものを使って災害時を乗り切る方法を、セミナーと料理講習で紹介。

(株)かりゆし
www.kariyushi.co.jp/ikensakubun.html

観光文化事業

「おきなわの観光」意見発表コンクール

「おきなわの観光」絵画コンクール

沖縄県在中の学生を対象に、「おきなわの観光」意見発表・絵画コンクールを平成14年より開催。意見発表コンクール「専門・大学の部」においては、審査の段階で学生のプレゼンに審査員が助言を行う。

(株)関西都市居住サービス
http://www.kul.co.jp/

クリーン&歴史ウォーク(地域美化活動・健康ウォーク)

小学生以上を対象に地域周辺の史跡等を歩いて巡り、地域の文化に触れながら、美化活動を通じて、地域社会の貢献と育成に取り組む。運営には畿央大学の学生、教員の協力のもと、勾玉作り体験などを取り入れながら、平成17年から年2回開催。

(株)サニクリーン広島
https://www.sanikleen-hiroshima.co.jp/

おそうじ教室 ～今日から君も『おそうじマイスター』～

平成26年から小学校を中心に実施している。ホウキやゾウキンの使い方や場所別の清掃方法だけではなく、『なぜ掃除をしなければならないか?』等掃除の意義についても一緒に考えている。

住友理工(株)

http://www.sumitomoriko.co.jp/csr/philanthropy/education.html

住友理工サッカーフェスティバルの開催

スポーツを通じた青少年の健全な育成を目的に、小牧市サッカー協会と協働で「住友理工サッカーフェスティバル」を平成18年より毎年開催。指導はJリーグの名古屋グランパスの選手、コーチが行い、プロサッカー選手とふれあう機会を子供たちに提供。

損害保険ジャパン日本興亜(株)
http://www.sjnk.co.jp/csr/environment/eco/bousai/

防災人形劇、体験型防災ワークショップ

「防災ジャパンダプロジェクト」

将来を担う子供たちとその親を対象に、防災について学び、体験する場を提供することで、災害から身を守るための知識や安全な行動について身につけてもらうことを目的としたプロジェクトを展開している。

(株)中日新聞東京本社
http://www.tokyo-np.co.jp/

こどもブックワールド

毎月1回、最終金曜日の東京新聞朝刊最終面に協賛広告主5社の児童書連合広告を掲載。その際読者プレゼントも実施。付帯イベントとして、児童書作家の講演会や、小学校での読み聞かせ会を開催。40年以上継続。

(株)新潟放送
http://www.kidsp.net/ac/info.php?cd=1413340055

第12期 にいがたキッズプロジェクト

「キッズチャレンジ 親子田植え・稲刈り体験ツアー」

家族の絆、郷土の自然・食文化への誇りの醸成と、協働作業の大切さを学ぶべく、農家や教育委員会、地元企業と連携し平成19年から実施している。小学生以上の子供が家族と一緒に、春から秋にかけ稲作に取り組む。

日本食糧新聞社 関西支社
http://www.nissyoku-kansai.com

キッズ食のミュージアム Part1～11

教育施設にて様々な「食」をテーマに掲げ、関連の食品企業や団体、組合等と共に、歴史や文化、製造までの流れや成り立ちを、展示やミニ体験、座学や調理体験などを通して伝えるイベントを開催し続けている。

(株)ハチパン
http://www.hachiban.co.jp

8番らーめんキャッチボールクラシック

少年野球チームを対象に野球の基本「キャッチボール」を競技化したゲーム「キャッチボールクラシック」を行っている。何回正しくキャッチボールできるかを競うなかで「仲間が取りやすいところに投げよう」といった思いやりの心を醸成し、子供たちの健全育成に貢献できることを願っている。

(株)PFU
http://www.pfu.fujitsu.com/

子供・宇宙・未来の会「いしかわ宇宙の学校」

同じ地域の「学校」「家庭」「地域・企業」が一体となり、次世代育成を目標に、自然や宇宙をテーマとした年間3回の「スクーリング(工作や実験)」、その間をつなぐ「家庭教育」また「特別スクーリング」を開催。

(株)ファミリーマート
http://www.family.co.jp/company/eco/thanks_letter/2015/index.html

「ありがとうの手紙コンテスト」

小学生が普段の生活の中で感じるありがとうの気持ちを手紙にして書くことを通じて、コミュニケーションを持つこと、人を思いやる気持ちを伝えることの大切さを学んでもらい、情緒面から子供の成長を支援する。

(株)平和堂
http://www.heiwado.jp/syokuiku/

5ADAYスーパーマーケット食育体験ツアー

園児・小学生向けの2種類の食育体験ツアーがあり、スーパーマーケットで実物の食材に触れながら、バランスの良い食事、野菜摂取の大切さについて楽しく学べる体験学習。10年目となる平成26年度は約1,800名が参加。

(株)マルイ
http://www.maruilife.co.jp

食でつなぐ まち・ひと・こころ～マルイの食育事業

平成17年度より、岡山・鳥取両県において地域の多様な団体と連携。学齢に応じた食農体験やインターンシップ、環境問題や地域社会の課題等に対して主体的に考え、行動する契機となる体験機会を創出。次世代育成に継続して取り組んでいる。

明治安田生命保険(相)
http://www.meijiyasuda.co.jp/profile/csr/society/area/soccer-school.html

小学生向けサッカー教室

Jリーグとタイトルパートナー契約を締結し、Jリーグおよび地元のJクラブ等を応援する取組の一環として、Jクラブチームの選手等が講師を務める「小学生向けサッカー教室」をこれまでに全国で230回開催。

ヤマハ(株)
http://jp.yamaha.com/

手づくりギター教室

小・中学生を対象に、大学生ボランティア団体と協力し、ダンボールやつまようじなど身近な素材を使ってオリジナルの手作りギターをつくる教室を開催。ものづくりの魅力を感じてもらうとともに、楽器を演奏することの楽しさを体感してもらう。

平成27年度 青少年の体験活動推進企業表彰

広がる企業の体験活動

【中小企業部門】

(五十音順)

職業・仕事

(株)青木製作所
http://www.tentre.com/

とちぎアントレプレナーコンテスト

新しい商品やサービスのアイデア創出の場としてだけでなく、ビジネスの最前線にある企業経営者のサポートのもとビジネスプランを作成し、学生自身が実際に開業を目指す“実践的起業家教育プログラム”。

(株)アンビズム 長野ランチ
https://www.futurecraft.jp/

Summer Adventure CAMP 2014

Summer Adventure CAMP 2014は、長野の自然に囲まれた環境の中でゲームプログラミングを学べる小学生のための夏のキャンプ合宿。「ものづくり」の楽しさと自然がもつ豊かさを同時に体験!

(株)イワコー
http://www.iwako.com

工場見学

「想像力豊かな人間に育って欲しい」との思いから、工場見学と組立ての体験を行っており、年間約10,000人の見学者が訪れる。製造に様々な経費がかかることなど、モノづくりの大変さや面白さを伝える工夫をしている。

(株)愛媛新聞社
http://www.ehime-np.co.jp/

印刷センター親子見学会

夏休みの小中学生親子を対象に平成25年に新設した印刷センターにて実施。映像やスライドを用いて取材～原稿組み～印刷～新聞が届くまでを学習したり稼働中の輪転機を見学したりして新聞のできる様子を体感した。

寿製菓(株)
http://www.okashinet.co.jp

工場見学、名菓「因幡の白うさぎ」目付け体験

米子市内の小学3年生を中心に実施し、菓子創りの流れを紹介し、手洗いや殺菌といった衛生管理の大切さを学ぶ。目付け体験で世界で一つの因幡の白うさぎをお土産として持ち帰ってもらい家族との会話に役立てる。

下関体育センター(株)
http://www.taiku-center.co.jp/

職場体験

下関市が毎年行っている、中学生の職場体験学習として職場体験の場を提供している。子供たちが仕事を体験することにより、将来への夢を持てるようにするという趣旨に賛同している。

(株)上毛新聞社
http://factory.raijin.com/index.html

上毛新聞印刷センター見学会

県内在住者を対象に印刷センターの見学会を行っている。小学校の団体が社会科学習の一環として大勢で訪れており、新聞づくりの工程を見学することにより、新聞をより身近に感じ、ニュースに関心を持つようになること事を目的に実施している。

トヨタカローラ香川(株)
orangetoyota.co.jp

ワクワクおしごと体験 キッズエンジニア

本物のクルマや工具を使って、子供たちに「クルマいじりの楽しさ」を伝え、見たり聞いたり触れる体験を通し、クルマを好きになって欲しい。また、クルマを取り巻く環境、エコについても学んでもらう。

(株)新潟日報社
http://www.niigata-nippo.co.jp/mediaport/omoshiro-shinbunkan.html

新潟日報社体験施設「おもしろしんぶん館」における

「新聞のひみつををまるごと体験&見学!」

小学生を主な対象として「おもしろしんぶん館」の見学を通して新聞の歴史や新聞づくりを学ぶ機会を平成26年から提供している。合わせて「印刷工場内見学」や「新聞読み方講座」を開催し、活字・新聞をより身近に感じてもらえる取組を実施している。

ネットトヨタ福井(株)
http://www.netzfukui.co.jp/

わがまちねっつプロジェクト「ぼくらまちのたんけん隊」

近隣の幼稚園・保育園の園児を迎え、ショールームや自動車の構造、整備の様子などを「まちのたんけん」として見学し体験をしていただくプロジェクト。

(株)福島民報社
http://www.minpo.jp/

就業体験学習プログラム(インターンシップ)

大学生を対象に、2週間、新聞社の業務を体験させる。編集や広告だけではなく、販売店での活動も研修の一つ。「新聞を作り、届ける人の気持ちがあったからこそ、東日本大震災の翌日も途切れることなく、新聞を発行できたことを学んだ」と感想が寄せられた。

福島民報ナイトツアー

福島民報社本社と印刷センターで深夜の新聞制作工程を見学する。年5回程度実施している。対象は小学4年生から大人までで、新聞への関心や復興に向けた報道への理解を高めてもらうことを目的とし、取り組んでいる。

福島民友新聞社(株)
http://www.minyu-net.com

小学生の社会科学習

小学生対象の取材体験や社内見学などを交えた体験活動を実施。社員が講師を務め、新聞の役割や新聞社の仕事について理解を深めてもらうとともに、新聞が学習面でも役立つことを紹介、新聞に親しんでもらう。

(株)丸大サクラ中薬局
http://happydrug.co.jp/

こども調剤体験

ヘルスリテラシーの啓蒙イベント「青森ドラッグストアショー」内の企画。
幼児～小学生を対象に、薬局で行われている薬剤師の実際の作業を体験し、薬剤師の仕事に対する興味と理解を育むことを目的としている。

(株)宮崎日日新聞社
http://www.the-miyanichi.co.jp/

こども記者

編集デスクが記事の書き方や写真の撮り方を指導する。普段小中学生が体験できない出来事取材してもらうことにより、社会を広く知ってもらう。

山日YBSグループ(株)山梨放送
http://www.ybs.jp

山日YBSグループ夏休みマスコミジュニアツアー

小学5、6年生と中学生を対象に、実際の機材を使った体験ツアーを実施。小学生はアナウンサーとカメラの前で原稿を読み、中学生は役割を決めて一つの模擬番組を制作。身近なテレビやラジオの裏側を学んでもらう。

科学・技術

中日本冰糖(株)
http://www.nakahyo.co.jp/csr/class/

氷砂糖のとけかたを通じ、理科などに興味を持とう！

明治28年創業の「馬印」ブランドの氷砂糖製造メーカー。ビンの中に梅と氷砂糖を入れるとなぜか溶ける。そんな不思議な実験を小学5年生を対象に社会貢献事業の一貫として、毎年数校実施している。

自然・環境

(株)岩手日報社
http://www.iwate-np.co.jp/

遊・YOU塾

県内の小中学生が対象の体験型教育旅行。平成8年の企画から今年21年目を迎え、参加者は累計4千人を超えている。自然環境、文化、習慣の異なる訪問地で様々なプログラムを体験し学ぶ。

(一社)葛巻町畜産開発公社 ※青少年体験活動を地域で推進する参考例
http://kuzumaki.jp/

くずまき高原牧場スノーワンダーランド実行委員会

平成13年より16年間継続して実施している子供長期自然体験キャンプ。当活動は、体験学習法に主眼を置き、親元を離れた長期宿泊体験の中で仲間と共に自然体験や酪農体験を経験することで、主体性や創造性を育むことを目的とする。

くずまき高原牧場 森のようちえん

幼児とその家族を対象にした自然体験活動。当活動は、牧場の多面的機能を活用し、幼児期の主体性を育むことを目的とした活動。また、幼児とは別に、家族も自然体験や酪農体験を経験することで、自然体験活動についての理解醸成を図っている。

(株)グローバルマシーン
http://www.global-machine.jp

林檎のできるまで

保育園児(1歳から3歳児)を対象に地域社会の子供たちの成長のお手伝いとして林檎の木の所有権を贈呈し、花粉付けや摘果、そして収穫し、食物を食べる楽しみとその成長を学んでもらうために、平成27年度より実施している。

ひびき灘開発(株)
URL:http://www.hibikidev.co.jp

みんなの力で森を作ろうプロジェクト

平成22年度から産業廃棄物処分場跡地で、小中学生を対象に自社生産した苗木とカンガルー糞で生産した堆肥を使用して緑化体験学習を実施している。活動の中で苗木の生産には、障害者も参加していることも紹介している。

(株)福島民報社、(株)河北新報社、(株)岩手日報社
http://smile-tohoku.jp/

スマイルとうほくプロジェクト

磐梯山町営牧場のツバ畑にてスマイルマークのフラワーアートを描くために種まきを平成23年度より実施。地元の青少年スポーツ団含め約60名が参加。被災地へ送られたメッセージカードと一緒に植えるなど、青少年の心情に寄り添った活動を展開。

(株)マルコシ
http://www.marukoshi.jp

親子農業体験塾 志路・竹の子学園

今期で12期目を迎える志路・竹の子学園は、小学生を対象に親子での参加を原則とし、自然に親しみながら農作物を育て、地域の人たちとの交流を通じ、人間的に成長することを目的として活動している。

生活・文化

(株)アポロガス
http://www.apollogas.co.jp/

手づくりキャンドル教室

キャンドルイベントで使用したキャンドルを再生して子供たちとオリジナルキャンドルを作る「手づくりキャンドル教室」。物を大切にすること、火のあたたかさを伝えている。

(株)石川ミリオンスターズ
http://www.m-stars.jp/

小学校での講演および野球教室

“夢を叶えるために大切なことを学ぼう”

石川ミリオンスターズの選手が小学校を訪問。講演や質疑応答から、生徒たちに選手がこれまで夢を叶えてきた過程を伝えた後、野球教室を開催。夢を叶えた選手を身近に感じてもらい、夢や目標を持つ手助けを行う。

(株)岩手日報社
http://www.iwate-np.co.jp/

小学生3×3(スリー・バイ・スリー)選手権岩手県大会

3人制ハーフコートバスケットボール競技。県内小学生の健全育成と3×3競技の普及を目的としている。全国では唯一の全県規模での小学生を対象とした大会。セルフジャッジを基本とし、ゲームを通してフェアプレーを学ぶ。

(株)AC福島ユナイテッド
http://fufc.jp

保原小学校サッカー教室withかみや

福島ユナイテッドFCトップチームの選手を複数名派遣し、子供たちを対象にサッカーの指導を行う。サッカー選手という「憧れの存在」を身近で感じてもらい、スポーツを通じて福島を盛り上げることを目的としている。

愛媛県民球団(株)
http://www.m-pirates.jp

子ども元気づくり合同合宿事業

愛媛マンドリンパイレーツの選手たちと地元小学生との合同合宿を行い、野球を中心としたスポーツ等による交流を深めるとともに、集団生活による参加者相互の交流を図り、子供たちの健全育成を促進する。

香川オリーブガイナーズ球団(株)
http://www.oliveguyners.jp/

香川オリーブガイナーズ野球教室

香川県内の140名の小学生を対象に野球教室を実施。内容は怪我をしにくいストレッチや準備運動、野球の基礎となるキャッチボールなどを指導。教室中は野球の技術指導だけでなく挨拶や礼儀の大切さも指導した。

(株)鹿児島プロスポーツプロジェクト
http://www.kufc.co.jp/

かぎんキッズドリームチャレンジ

運営するサッカークラブ「鹿児島ユナイテッドFC」のホームゲームにて、小学生以下の100人を対象にサッカー教室を実施。子供たちの体力や技術の向上、コミュニケーション能力の強化、心の育成に取り組んだ。

サイクルスポーツマネージメント(株)
http://www.blitzen.co.jp

坂田新聞店プレゼンツ

宇都宮ブリッツェン自転車安全教室

日本初の地域密着型プロロードレースチームとして平成21年に誕生した宇都宮ブリッツェンが自転車の楽しさを伝えながらも、交通事故減少や自転車文化の発展を目指して行っている子供向けの自転車安全教室。

(株)埼玉県民球団
www.musashibears.com

長瀬バッティングスタジアム 武蔵ヒートベアーズ 野球教室

バッティングスタジアムでバッティング指導の野球教室を行う。選手が参加者にマンツーマンでスイングチェック、バッティングチェック、質疑応答などを行うため、中身の濃い指導を体験できる。

(株)ジャパン・ベースボール・マーケティング
http://www.bc-l.jp/league-info/mikito-aed-project

MIKITO AED PROJECT

地域での、特に運動施設などにおけるAEDの設置普及、使用方法の理解促進活動。過去に起きた不慮の事故を風化させないため、野球場で観戦者への広報、AED使用体験や選手でのデモンストレーションを行う。

(株)高木包装
http://www.takagi-hoso.co.jp

奈良を包むおもてなし

地産地消を促すことのできるような商品開発に取り組んでいる中で、県内の大学生の協力の下、特産品を“包む”をコンセプトにパッケージの意味を考えた。多様なアイデアで魅力的な奈良らしいアソートボックスに出来上がった。

(株)千葉日報社
http://www.chibanippo.co.jp/_event/14oncon/

ちば音楽コンクール

県内在住、在学(在勤)および、県内でピアノの指導を受けている未就学児童～成人向けの音楽コンクール。県内音楽教育の向上、音楽的才能の発掘、優れた音楽の普及を目指して開催。

(株)槌谷
http://www.kakiyokan.com

食べてみたい『夢のお菓子』プロジェクト

幼稚園児から小学生までを対象とし、「こんなの、あったらいいな」と感じるお菓子の絵を募集。優秀作品を実際に職人が作り、11月の工場祭にてお菓子を展示、描いた子供にプレゼント。平成21年度より実施。

(株)長崎新聞社
http://www.nagasaki-np.co.jp/index.shtml

長崎新聞社杯少年ソフトボール大会

県内約90チームが一堂に会し、県内少年ソフトボール王座を競う。日々の研さんを競うだけでなく、ソフトボール競技を通じた人間形成を養う。過去34大会を開催。地域の高齢者、大学生などが球審や裏方などで大会を支えている。

(株)長野県民球団 信濃グランセローズ
http://www.grandserows.co.jp/

プロ野球チームによる立ち直り支援活動

長野県警少年課が立ち直りを支援している少年たちと、信濃グランセローズの選手と一緒に公式戦の会場を設営。少年たちと選手は同年代。この体験が自分を見つめ直し、将来の目標設定などの良い機会になればと考える。

(株)新潟アルビレックス・ベースボール・クラブ
http://www.niigata-albirex-bc.jp/

南三陸・石巻ベースボールキャラバン

被災地の子供たちに、弊球団の選手とふれあいながら野球を楽しんでいただくことや、野球の基本の練習方法やプロの技術を楽しみながら学んでいただくことを目的としている。

(株)新潟日报社
http://www2.niigata-nippo.co.jp/kodomo-summit/

にいがた子どもサミット ～かべ新聞コンクール～

平成26年度から実施。小学3年生から中学3年生までを対象に自分たちの暮らす地域のことを調べ、壁新聞にしてもらい、コンクールを実施。優秀校は本事業の総括イベントとなる「にいがた子どもサミット」に登場し、学びの成果を発表する。

(有)花ごころ
http://www.hana-gokoro.net/

花育

お花を通して命の大切さ尊さを学び、豊かな感受性を育むための体験学習。自由な発想で花を活けるという事を通し、創造性や独創性などが育つことにつながると考えている。特別支援学校や聴覚支援学校で活動をしている。

(株)ヤノメガネ
http://www.yanomegane.jp

第34回ヤノメガネ少年野球教室

“健全な視力は健康な身体づくり”をテーマに昭和56年より毎年実施し、山本浩二氏など日本プロ野球界で活躍された一流選手に直接実技指導していただき、スポーツを通じて子供たちの健全育成を応援している。

(株)龍崎工務店
http://ryuzaki.co.jp

企業のCSR「過疎地域活性化事業」

(ハーモニープロジェクト)

地域社会と連携し「過疎地域活性化」に取り組んでいる。その中で次世代を担う学生や子供たちを対象に、インターンシップ、出前講座、森林教室、和紙すき体験等を実施。目指すは「過疎地域活性化モデル」である。

(株)レーベル
http://www.meiko-level.com/

第6回 盲導犬ふれあい体験フェア

普段では体験できない盲導犬の育成について説明や体験歩行訓練、〇×クイズ等を行い、より身近に、より深く盲導犬の必要性や存在価値を知ってもらうためのイベントを行っている。